

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

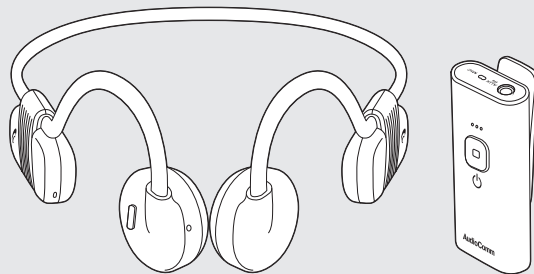
電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

取扱説明書

骨伝導イヤホン+集音器セット

型番：HP-BC500N 品番：03-1700



このたびは、AudioComm® 骨伝導イヤホン+集音器セットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

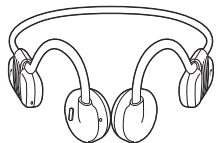
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

本製品は医療機器(補聴器)ではありません。

【使い始める前に】

本製品には以下のものが含まれています。
お使いの前に、必ず内容をお確かめください。

本機(骨伝導イヤホン)



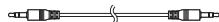
集音器



専用充電コード



外部音声入力コード



保証書 取扱説明書(本書)

もくじ

充電式電池について	1
免責事項	2
安全上のご注意	2~5
本機(骨伝導イヤホン)の防水保護等級について	6
Bluetoothについて	6~8
各部の名称	9
充電のしかた	10
電源のオン/オフ	11
本機の装着方法	12
集音器と接続して使う	12~15
Bluetooth機器と接続して使う	16~19
故障かなと思ったら	20
お手入れのしかた	21
主な仕様	21~22
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 危険

 接触禁止	充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない ●本機及び集音器には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。 ●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗います。ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。 ●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。
--	---

⚠ 警告

 22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは、装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
 接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機や集音器、充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。
 使用を中止する	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 万一、内部に異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
 禁止	充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。 火の中に入れない ●本機及び集音器にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警告

 禁止	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	運転中は本機や本機と接続した携帯電話を操作したり、携帯電話の画面を注視しない。また、運転中以外でも、周囲の音が十分に聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では、音量を抑える ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。
	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
	付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。
	本機や集音器、充電コードの上に、重いものをのせない ●破損・故障や、コードが傷ついて火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

 保管場所に注意	小さなお子様の手が届かないところに保管する ●誤った取り扱いにより、思わぬ事故を招くことがあります。
 音量に注意	大音量で聴き続けけない ●音量を上げすぎないでください。本機は音漏れしますので、周囲の迷惑にならないよう十分にご注意ください。電車やバスなどでのご使用は避けてください。
 水かけ禁止	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない(集音器) ●感電や故障の原因となります。 ●集音器は防水仕様ではありません。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で操作しない(集音器) ●故障や感電の原因となることがあります。
 禁止	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。

⚠ 注意



禁止

長時間、水に浸けない。水中に沈ませない(本機)。

- 本機の防水保護等級は耐水形です。完全な防水仕様ではありません。
- ご使用前に充電用USBポートのカバーが閉まっていることを確認してください。密閉されていない場合、水が浸入します。
- 水がかかる場所で充電しないでください。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

- 落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

充電コードを熱器具に近づけない

- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

本機及び集音器をかばんなどの中に入れたままにしない

- かばんに力加わるとして、変形や破損、故障の原因となることがあります。

磁気カードや腕時計などを近づけない

- 磁気の影響により、記録内容の消失や故障の原因となることがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

- 変形・変色の原因となります。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因となることがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない

- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

本機(骨伝導イヤホン)の防水保護等級について

本機はJIS C 0920:2003(IEC 60529:2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX6」(耐水形:いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)仕様となりますが、以下の点にご注意ください。

- 充電コード及び集音器は、防水仕様ではありません。水がかかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。
- 充電後は、USBポートカバーを確実に閉めてください。
- 長時間、水中につけないでください(完全防水ではありません)。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かささないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

バージョンとプロファイル

本製品は以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。ご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

【骨伝導イヤホン】

<バージョン> Bluetooth標準規格 Ver.5.0

<プロファイル> ・HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
・HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

【集音器】 <バージョン> Bluetooth標準規格 Ver.5.0

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

セキュリティ

本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

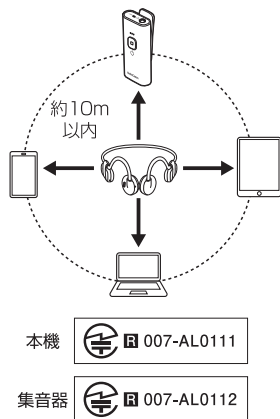
Bluetoothについて(つづき)

通信可能範囲

本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。



使用周波数と注意事項

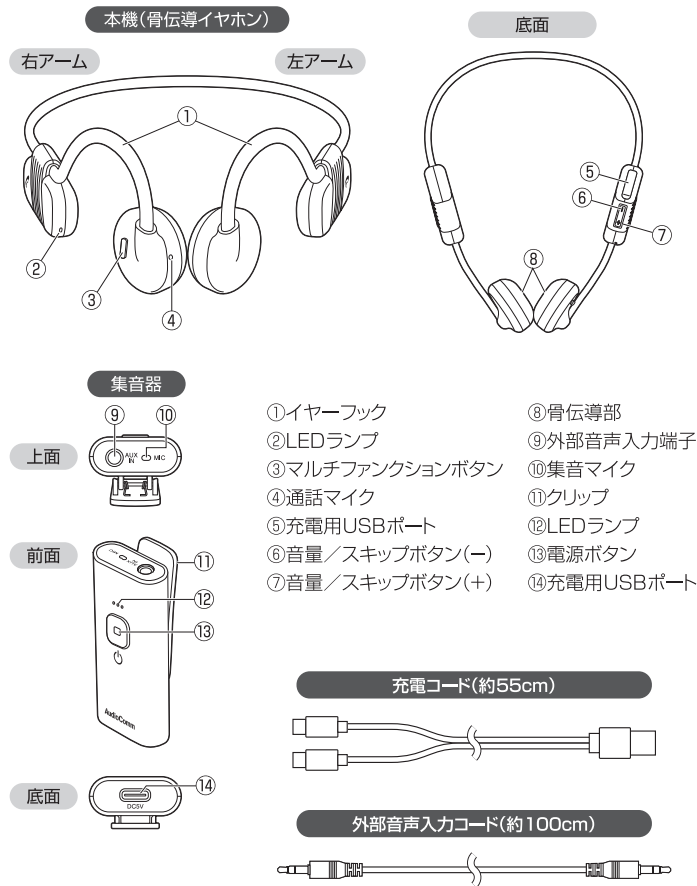
本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ご使用前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

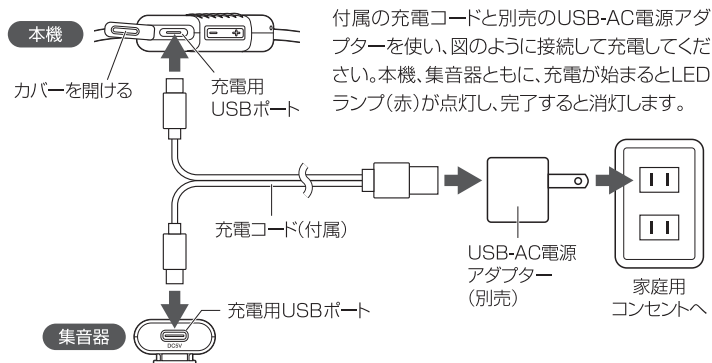
医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

各部の名称



充電のしかた

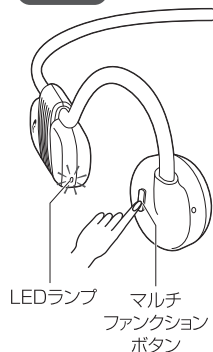


ヒントとご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 残量ゼロからフル充電までは、本機、集音器ともに約1.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- パソコンのUSBポートに接続して充電しようとする、十分に充電できなったり、充電が始まらないことがあります。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなるとLEDランプが点滅してお知らせします。本機の場合は約10秒ごとに赤が点滅し(電子音も聞こえます)、集音器では約5秒ごとに赤が点滅します。そのまましばらくすると電源が切れますので、直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン／オフ

本機



電源オン

マルチファンクションボタンを長押しすると、電源が入ります。

- 電子音が流れて、LEDランプ(赤／青)が交互点滅します。赤／青の交互点滅は、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)であることを示しています。
- 集音器と接続して使うときはP12～15を、スマートフォンなどのBluetooth機器と接続して使うときは、P.16～19を参照して操作してください。

電源オフ

電源が入っているときに、マルチファンクションボタンを長押しすると、電源が切れます。

- 電子音が鳴り、LEDランプ(赤)が約1秒間点灯した後、消灯して電源が切れます。

集音器



電源オン

電源ボタンを長押しすると、電源が入ります。

- LEDランプ(青)が点灯後、速い点滅に変わります。

電源オフ

電源が入っているときに電源ボタンを長押しします。LEDランプ(青)が点灯したのを確認して指を離すと電源が切れます。

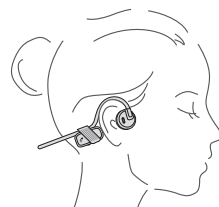
- LEDランプも消灯します。

ヒント 自動電源オフ機能について

- 本機、集音器ともに、他の機器と未接続の状態が一定時間経くと、節電のため自動的に電源が切れます(Bluetooth接続中は切れません)。
 - 本機：約5分
 - 集音器：他の機器と接続中だった場合…接続が切れてから約5分
他の機器と接続されていない場合…約10分

本機の装着方法

- 骨伝導部を耳のやや前方部分に当て、イヤーフックを耳にかけて装着してください。
- 骨伝導部を当てる位置によって聞こえかたが異なりますので、装着後、使い始めた直後に調節してください。



集音器と接続して使う

集音器には、

- ①集音マイク(内蔵)で会話相手の声などを拾い、本機に送る
 - ②付属の外部音声入力コードでテレビやラジオなどと接続し、音声を本機に送る
- の2つの使いかたがあり、どちらの場合も、本機と集音器はワイヤレス(Bluetooth)で接続します。
- また、集音器は、卓上に置いて使うほか、クリップを服のポケットなどにはさんで使うこともできます。目的や周囲の環境に応じた使いかたをしてください。

①集音マイク(内蔵)を使うときは



- ① マルチファンクションボタンを長押しして、本機の電源を入れます。
 - 電源を入れた後、音量／スキップボタン(-)を押して、音量を抑えてください。
 - 電源が入ると、LEDランプがすぐに赤と青の交互点滅になります。

集音器と接続して使う(つづき)

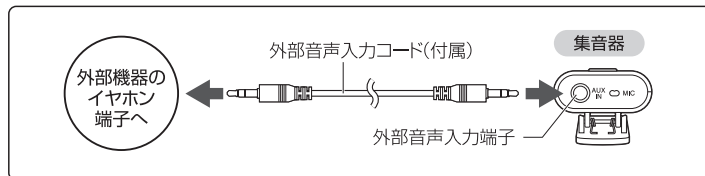
- 2 電源ボタンを長押しして、集音器の電源を入れます。
 - 本機に近づけた状態(1m以内)で電源を入れてください。
 - LEDランプ(青)が点灯し、すぐに速い点滅に変わります。
 - しばらくすると、本機と集音器が自動接続されます。接続が完了すると、どちらのLEDランプもゆっくりとした点滅に変わります(本機は約10秒に1回、集音器は約2秒に1回点滅)。
- 3 本機を装着し、音量を調節します。
 - 音量／スキップボタン(－／＋)を押すたびに、音量が変化します。
 - 最大音量に達すると電子音が鳴ります。
 - 本機は音漏れします。周囲に人がいる場合などは音量にご注意ください。
 - マルチファンクションボタンを短く押すと、消音します。もう一度押すと、再び音が聞こえるようになります。
- 4 終了するときは、双方の電源を切ります。

ヒントとご注意

- 本機が他の機器とBluetooth接続をしているときは、事前にその機器との接続を解除したうえで操作してください。
- 本機→集音器の順番で電源を入れてください。順番を逆にすると、正しく接続されないことがあります。
- 本機との接続が完了した後、お使いになるときは、集音マイク部を音源に向けて置いてください。また、マイク部を衣類などでふさがないようにください。
- 使用中に集音器を動かすと、ノイズが大きく聞こえることがあります。必要に応じて置く場所や音量を調節してください。

②テレビやラジオなどと集音器を接続して使うときは

外部音声入力コードを使うときは、本機及び集音器の電源を入れる前に、以下のように外部機器(テレビやラジオなど)と接続してください。



- 1 外部機器の電源を入れます。
- 2 マルチファンクションボタンを長押しして、本機の電源を入れます。
 - 電源を入れた後、音量／スキップボタン(－)を押して、音量を抑えてください。
 - 電源が入ると、LEDランプがすぐに赤と青の交互点滅になります。
- 3 電源ボタンを長押しして、集音器の電源を入れます。
 - 本機に近づけた状態(1m以内)で電源を入れてください。
 - LEDランプ(青)が点灯し、すぐに速い点滅に変わります。
 - しばらくすると、本機と集音器が自動接続されます。接続が完了すると、どちらのLEDランプもゆっくりとした点滅に変わります(本機は約10秒に1回、集音器は約2秒に1回点滅)。

集音器と接続して使う(つづき)

- 4** 本機を装着し、音量を調節します。
- 音量／スキップボタン(−／+)を押すたびに、音量が変化します。
 - 最大音量に達すると電子音が鳴ります。
 - 本機は音漏れします。周囲に人がいる場合などは音量にご注意ください。
 - マルチファンクションボタンを短く押すと、消音します。もう一度押すと、再び音が聞こえるようになります。
 - 外部機器側で音量を調節すると、それに応じて聞こえる音量も変化しますが、外部機器側で大きくした場合、接続解除後、外部機器側の出力が思わぬ大音量になることがありますので、十分ご注意ください。

- 5** 終了するときは、双方の電源を切ります。
- 必要に応じてテレビなど外部機器側の電源も切ってください。

ヒントとご注意

- 集音器の外部音声入力端子に外部音声入力コードが接続されているときは、集音マイクの機能を使うことはできません。
- 本機が他の機器とBluetooth接続をしているときは、事前にその機器との接続を解除したうえで操作してください。
- 集音器と本機の間に障害物があると、音声が届いたりすることがあります(例：集音器がテレビの背面に隠れている場合など)。そのようなときは、集音器を置く場所や聴く場所を変えてください。
- 本機→集音器の順番で電源を入れてください。順番を逆にすると、正しく接続されないことがあります。
- テレビなどの映像機器と接続する場合、音の遅延により、映像と音声にズレが生じることがありますが、故障ではありません。

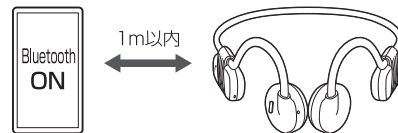
Bluetooth機器と接続して使う

ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングを行なってください。

- 1** 本機及び相手側機器を手元に用意し、それぞれの電源を入れます。
- 集音器の電源が入っているときは、集音器の電源を切ってください。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
 - 相手側機器→本機の順で電源を入れ、本機がサーチモード(LEDランプが赤と青の交互点滅)になっていることをご確認ください。



- 2** 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより異なりますので、各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HP-BC500N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※接続する機器によってはご自身で設定したパスコードが必要な場合があります。

Bluetooth機器と接続して使う(つづき)

本機との接続が完了すると…

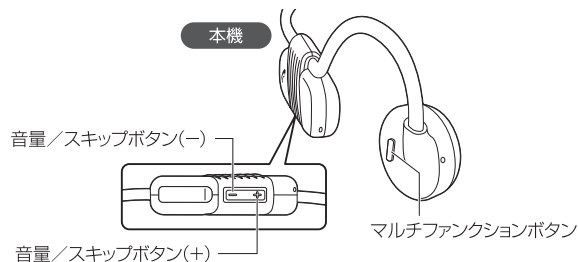
電子音が流れてLEDランプ(青)が約10秒に1回の点滅に変わります。
相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては、本機のマルチファンクションボタンで再生を始められる場合もあります。

ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル:HSP、HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングを行なってください。
- サーチモードのまま約5分経つと、本機の電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- 登録後、使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、
 - ・本機とBluetooth機器との間に障害物がある
 - ・所定の通信距離以上に離れている
 - ・本機またはBluetooth機器の電池残量が減少している
 などが原因として考えられます。それらを確認しても改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、再度ペアリングし直してください。

音楽再生時のボタン操作

外部機器とBluetooth接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生⇄一時停止	約2秒間：音声アシスタントを起動 約5秒間：電源を切る
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる ※	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。 続けてもう一度長押しすると、 前の曲を再生

※最大音量に達すると電子音が鳴ります。

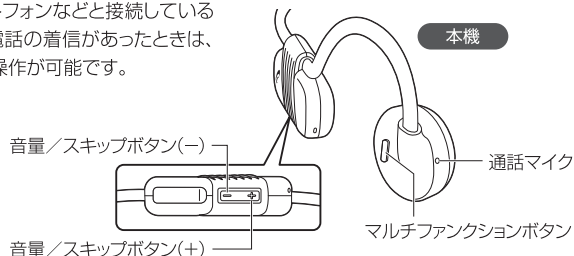
ヒントとご注意

- 音量を上げすぎないでください。本機は音漏れしますので周囲の迷惑にならないよう十分にご注意ください。また、大音量で使い続けると本機の寿命が短くなります。
- 一時停止中にスキップ操作をした場合は、マルチファンクションボタンを押すと再生が始まります。
- 接続する機器や再生アプリなどにより、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。
- Bluetooth接続中は、再生していない状態が続いても、本機の電源は自動で切れません。使い終わったら、必ず本機の電源を切ってください。
- 動画コンテンツを再生する場合、音の遅延により、映像と音声にズレが生じることがありますが、故障ではありません。

Bluetooth機器と接続して使う(つづき)

電話着信時の操作

スマートフォンなどと接続しているときに電話の着信があったときは、以下の操作が可能です。



	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを2秒間長押しする
リダイヤル	マルチファンクションボタンを短く2回続けて押す

※音量／スキップボタン(－／＋)により、音量調節が可能です。音量操作時に最大音量に達すると電子音が鳴ります。

ヒントとご注意

- 通話時は通話マイク部をふさがないようにご注意ください。
- リダイヤルについて：リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- 着信音について：スマートフォンの機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音出力される場合があります。
- お使いの機種によっては、スマートフォン側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。

故障かなと思ったら

●充電できない

- ・本機や集音器と充電コード、USB-AC電源アダプターが正しく接続されていますか。
- ・付属品ではない充電コードを使用していないですか。
- ・パソコンのUSBポートを使って充電していませんか(電流不足により、充電できないことがあります)。

●電源が入らない

- ・十分に充電しましたか。
- ・マルチファンクションボタン(本機の場合)、電源ボタン(集音器の場合)を長押ししましたか(短く押ししていませんか)。

●本機と集音器が接続できない。

- ・本機及び集音器の電源は入っていますか。
- ・両者の距離が離れていたり、障害物がありませんか。
- ・本機が他の機器とBluetooth接続していませんか。

●本機が他のBluetooth機器とペアリングができない。Bluetooth接続ができない

- ・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。
- ・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。
- ・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。
- ・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。

●音が出ない

- ・ペアリングは行ないましたか。
- ・本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていませんか。
- ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

●音声途切れたり、ノイズやエコー音がする

- ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

●Bluetoothにて接続中のスマートフォンに着信があっても、本機が応答しない

- ・スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
- ・一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切替操作が必要な場合があります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

お手入れのしかた

必ず電源を切ってから行なってください。

- 表面が汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

主な仕様

●本機(骨伝導イヤホン)

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 140mAh)
型式	骨伝導
インピーダンス/感度	8Ω / 83.5dB
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
再生周波数帯域	20Hz~20kHz(A2DP)
マイク指向特性/感度	全指向性 / -43dB
充電時間	約1.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
使用可能時間	約9時間(50%音量)
待受可能時間	約30日
許容動作温度/湿度	温度：0~40℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
防水性能	IPX6(耐水形：いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)
外形寸法	幅110×高さ45×奥行130mm
質量	約30g

●集音器

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 400mAh)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
マイク指向特性/感度	全指向性 / -42dB
充電時間	約1.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
使用可能時間	約20時間(50%音量)
待受可能時間	約30日
許容動作温度/湿度	温度：0~40℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
防水性能	なし
外形寸法	幅20×高さ67×奥行28mm
質量	約25g

●付属品

専用充電コード、外部音声入力コード、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、使用可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスのもとでつぎ使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

※本製品は医療機器(補聴器)ではありません。